

那珂市幼稚園教育 スマイルプラン



1 計画策定の背景

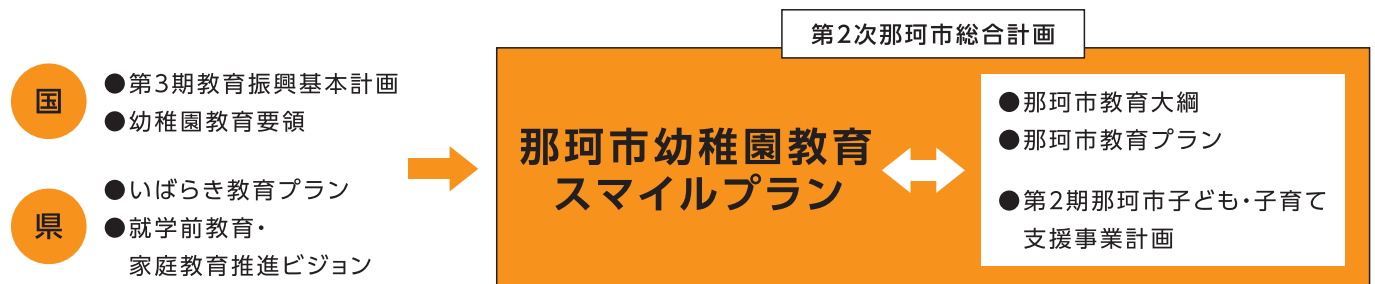
近年、少子化や核家族化の進行、女性の社会進出の高まりなどにより、幼児を取り巻く環境が変化するとともに、保護者のニーズも多様化しています。

また、国の「子ども・子育て支援法」により、幼児教育施設に求められる役割が多様化する一方、本市においては、ひまわり幼稚園が唯一の公立幼稚園として、新たな位置づけや役割が求められています。

2 計画策定の目的

- ・ひまわり幼稚園における幼児教育推進の基本的な方針を明らかにします。
- ・将来のひまわり幼稚園の在り方を明確にするため、運営上の基本的な方針を提示します。

3 計画の位置づけ



【本計画のSDGs】

開発目標1 貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

開発目標3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

開発目標4 質の高い教育をみんなに

全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する

開発目標5 ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、誰もが平等に能力を発揮できるようにする

4 計画の期間

令和4年度～令和13年度(10年間)



幼稚園教育推進計画

1 基本理念

《目指す姿「未来に向かう なかっこ」》

幼児期にふさわしい環境の中で育まれた、健康で人間性豊かな子ども像を「未来に向かう なかっこ」とし、この姿の実現を目指します。

2 基本方針

<基本方針1>教育内容の充実



様々な遊びや体験活動、特色ある教育活動等、教育内容の更なる充実を図ります。

- 成果目標 子どもが幼稚園に行くことを楽しみにしている」と回答した保護者の割合
現状値:73.3%(令和3年度)→目標値:93.0%(令和13年度)

<基本方針2>教職員の資質・能力の向上



各種研修の充実により、教職員の資質や専門性の向上を図ります。

- 成果目標 外部研修に自主的に参加する教職員の割合
現状値:52.9%(令和3年度)→目標値:100.0%(令和13年度)

<基本方針3>保幼小中連携の推進



保幼小中連携協議会を中核に、小学校以降の生活や学習への円滑な接続を推進します。

- 成果目標 「10の姿を理解して教育を実践している」とした幼児教育施設と小中学校の教職員の割合
現状値:55.6%(令和3年度)→目標値:85.0%(令和13年度)

<基本方針4>センター的機能の充実



市内の幼児教育施設のセンター的機能として、質の高い幼児教育の提供や子育て支援の充実に努めます。

- 成果目標 ひまわり幼稚園が企画した研修会において「役に立った」と回答した幼児教育施設と小中学校の教職員の割合
現状値:86.1%(令和3年度)→目標値:92.0%(令和13年度)

<基本方針5>誰もが安心して活動できる環境づくり



安心安全な環境整備と子どもの特性に合った支援の充実に努めます。

- 成果目標 「先生は一人一人の子どもを大切にしていると思う」と回答した保護者の割合
現状値:89.5%(令和3年度)→目標値:98.0%(令和13年度)



3 基本施策

基本方針	基本施策	主な取組
1 教育内容の充実	①遊びと生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領に基づいた保育の展開 ・遊びを通して3つの資質・能力を育む教育の充実 ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえた保育実践
	②異年齢・異世代や地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢児との交流 ・地域の人や祖父母の保育参観 ・地域行事への参加
	③特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動「英語で遊ぼう」 ・専門講師による運動活動「みんなで遊ぼう」 ・保幼小中との交流 ・食育活動
2 教職員の資質・能力の向上	①園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究のテーマに沿った保育実践 ・ICT活用研修の実施 ・SDGsの視点を取り入れた研修の実施
	②園外研修の活用による専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・リカレント研修への参加 ・専門的な分野の研修会への参加 ・市内外の幼児教育施設の保育参観
	③一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領に基づいた保育の展開 ・市の小中一貫教育研修会への参加 ・公開保育による実践内容の情報発信
3 保幼小中連携の推進	①幼児教育と小学校教育の相互理解の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での授業参観 ・幼稚園での保育参観
	②園児の交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市内幼児教育施設と連携した就学先の小学校との交流会の実施 ・小学生が来園しての交流会の実施 ・リモートを利用したの児童との交流
	③小学校以降の学びの土台づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの継続的な見直し ・遊びと学びをつなげる活動の充実 ・小・中学生との交流会の実施
4 センター的機能の充実	①センター的機能を生じた情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校とのつながりを意識した教育内容の発信 ・公開保育による実践内容の情報発信
	②センター的機能を生かした合同研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関する研修会の実施 ・相互の保育参観・情報交換会の実施
	③関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・指導室による指導助言 ・関係各課との情報共有 ・地域子育て支援センターとの未就園児に関する情報交換・交流会の実施
	④子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級の充実 ・子育て相談会の実施
5 誰もが安心して活動できる環境づくり	①施設・環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備、遊具等の保守点検 ・教職員の緊急時の訓練の実施 ・安全管理体制の整備
	②幼小の情報交換による円滑な就学指導	<ul style="list-style-type: none"> ・就学先の小学校との情報交換会の実施 ・アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの継続的な見直し
	③一人一人に合った教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・受け入れ体制の整備による入園機会の確保 ・幅広い知識やスキルなど専門性の習得
	④予測不能な時代に適応した教育機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症や災害に関する正しい知識の習得 ・感染症対策や防災対策の実施 ・ICTによる家庭で活用できる教育内容の発信

ひまわり幼稚園運営方針

1 適正な園児数の確保

将来にわたり、適正な規模で教育活動を継続するため、園児数の確保を図ります。

<具体的な取組>

- ・情報発信
- ・公開保育の実施
- ・関連施設との連携
- ・場の提供
- ・施設見学会の実施

2 保護者のニーズへの対応

保護者のニーズの把握に努め、中・長期的に対応を検討します。

<具体的な取組>

- ・ニーズの把握
- ・ニーズへの対応
 - 「3歳児保育の実施」
 - 「預かり保育の拡充」
 - 「給食の回数や内容の充実」
 - 「送迎バスの運行」
- ・民間の幼児教育施設との調整

3 待機児童解消のための対応

全ての子育て家庭が、安心して教育・保育を受けられる環境づくりを目指します。

<具体的な取組>

- ・将来的な認定こども園への移行検討

